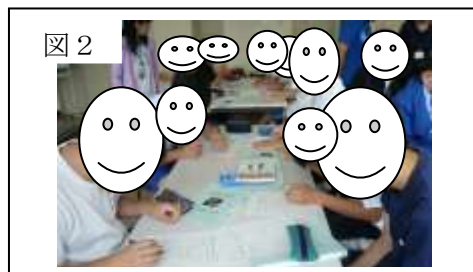


<b>【題材名】</b>	
宿泊施設での生活（ルールとマナー）	
<b>【題材の位置づけ】</b>	
将来に向けて 地域での生活 公共施設（科学館や青少年の家などの利用・マナー） 公共交通機関（バスの利用・マナー）	
<b>【題材の目標】 ～対象児童・生徒の自立の姿～</b>	
ステージⅡ 利用する施設や交通機関(バス)の利用に関するマナーを考え、整理することができる。 ステージⅢ 集団での活動である事を考えて、マナーを守って行動することができる。	
<b>【題材の工夫した点・配慮した点】 ～主体的な学びのために～</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用する施設や交通機関(バス)を場面ごとに分けて、それぞれの利用に関するマナーを考え、整理する。(グループに分かれてプリントに記入し、それをもとに次の授業で掲示物を作成する。)</li> <li>・パワーポイントを用いて、整理したマナーを写真や絵を提示しながら確認する。</li> </ul>	
<b>【題材の指導計画】（3・4時間目／8時間中）</b>	
<b>時</b>	<b>主な学習活動</b>
1	日時、行き先、活動内容の確認 6/21
2	係決め 6/21
3	集団生活ときまり①（場面ごとのルールの検討） 6/28 本時
4	集団生活ときまり②（場面ごとのルールの発表） 6/28 本時
5	集団生活ときまり③（場面ごとのルールの整理1） 7/5
6	集団生活ときまり④（場面ごとのルールの整理2） 7/5
7	宿泊係打ち合わせ② 7/12
8	スタンプ練習③ 7/12
<b>【本時の目標】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面ごとのルールを考え提案することができる。</li> <li>・他のグループが提案するルールを理解することができる。</li> <li>・本時で出たルールを整理して理解することができる。</li> </ul>	

○写真



## ○ 展開

場所：C棟 集会室

過程	主な学習活動	支援および指導上の留意点	資料・準備
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人数確認・報告をする。</li> <li>○始めのあいさつをする。</li> <li>○本時の活動内容を知る。   集団生活ときまり①</li> <li>○前時の振り返りをする。   ①日時   ②行き先   ③活動内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントで確認する。(図1)</li> <li>・場面ごとのルールの検討をする事を伝える。</li> <li>・パワーポイントで確認する。</li> </ul>	<p>パソコン プロジェクター</p>
展開 35分 (休憩 10分) 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宿泊学習の目的を知る。   各目標に対する意識を高める。マナーの学習の必要性を伝える。</li> <li>○科学館、青少年の家、バスを場面ごとに利用に関するマナーについて検討する。</li> <li>○検討した内容を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントで確認する。</li> <li>・場面ごとに、3つのグループをつくる。(図2)</li> <li>・検討が難しい、文章で書き表す事が難しいなどがある場合、必要に応じて支援する。</li> <li>・グループごとで検討した内容を劇で発表させる。(図3)</li> </ul>	<p>プリント マナーを表すイラスト</p>
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表に関する感想を言う。</li> <li>○本時の振り返りをする。   科学館、青少年の家、バスを場面ごとに利用に関するマナーの検討した事の整理をする。</li> <li>○次時の予告をする。</li> <li>○終わりのあいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学館、青少年の家、バスを場面ごとに利用に関するマナーを検討・整理した事を確認させる。</li> <li>・本時で整理したマナーを発表する事を予告する。</li> </ul>	

**【考察】**

〈成果〉

- ・グループごとの活動で、積極的に楽しんで提案する事ができた。

〈課題〉

- ・科学館、青少年の家について、あらかじめパソコンで調べさせるなどして生徒がどういう所かわかっていた方がよかった。
- ・写真や絵などをもっと使った方がいろいろな生徒がいるのでイメージが付きやすいのではないか。
- ・マナーを知るのに劇で発表させた事で生徒に理解しにくくした面がある。マナーについてグループごと考えた事を発表して、その事について他に意見はないか生徒に聞いたり、教員が補足したりしてまとめる。
- ・今回生徒に知ってほしいマナーについては、最後教員のほうでまとめておいた方がよい。

**【自立と社会参加に向けて（次のステップ）】**

- ・次の校外での行事、宿泊行事で今回の学習を復習し、新たな内容を追加していく。
- ・通学時のマナーと関連付けて指導し、現場実習時の通勤へつなげる。
- ・公共の場でのふるまいに自信を持ち、実習先・進路先で積極的に過ごす力を身に付ける。

<b>【題材名】</b>	
清潔感のある身なり	
<b>【題材の位置づけ】</b>	
将来に向けて 清潔感のある身なりを身につける。	
<b>【題材の目標】</b> ～対象児童・生徒の自立の姿～	
ステージⅠ 清潔な身なりを知る事ができる。	
ステージⅡ 清潔な身なりのポイントを見て、身なりを整える事ができる。	
ステージⅢ 周りの人からどのように見られるのかを考えて、清潔な身なりを整える事ができる。	
<b>【題材の工夫した点・配慮した点】</b> ～主体的な学びのために～	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・(清潔でない身なり)を視覚的に理解できるように汚れた身なりの男子のプリントやそれを拡大したイラストで確認する。</li> <li>・ 清潔な身なりができるように、自己チェックをする。</li> </ul>	
<b>【題材の指導計画】(2時間目/6時間中)</b>	
時	主な学習活動
1・2	清潔な身なりのポイントを知る。 <span style="float:right">9/6 本時</span>
3・4	清潔な身なりのポイントを意識して実際に整えてみよう。 <span style="float:right">11/22</span>
5・6	まとめ 社会人のマナーとして、清潔な身なりを身につける。 <span style="float:right">12/20</span>
<b>【本時の目標】</b>	
清潔な身なりを知り、自分の身なりを振り返る事ができる。	

○写真



過程	主な学習活動	支援および指導上の留意点	資料・準備
導入 10分	○あいさつをする。 ・3グループにわかれて座る。 ○本時の活動内容（清潔な身なりについて）を知る。	・生徒の実態に応じて学習に集中できるように3グループに分け、机も分ける。	
展開 40分	○黒板に貼った汚い人物のイラストを見て、汚い部分を考える。 ・1グループ：プリントで汚い部分に色鉛筆で×を記入する ・2グループ：人物プリントの汚い部分を見つけて記述する。 ・3グループ：どうすれば清潔な身なりになるか考え、記入する。	・清潔でないところに気付きやすいようにイラストを提示して注目させる(図1) ・各グループに教員が1,2名入り、言葉かけや手本を見せる事により、書字の支援を行う。 ・文章理解が困難な生徒には補足説明を行う。(図2、図3)	汚い人物の拡大イラスト掲示 グループ別プリント 色鉛筆セット
休憩 10分			
展開 40分	○グループ毎に発表する。 ・1グループ：黒板掲示したイラストに×マークで汚れた部分を指摘する。 ・2グループ：項目ごとに汚れている部分を各自発表する。 ・3グループ：どうすれば清潔な身なりになるかを各自発表する ○チェックシートをもとに自分の身なりをチェックする。	・多くの生徒が発表できるように、席に座っている順に指名する。(全グループ) ・言葉の表現が難しい生徒は、「×」マーク型のマグネットを使わせる。(1グループ) ・グループ毎に教員が身振りを交え、内容を説明し、自分でチェックできるように支援する。(図4)	「×」マーク型のマグネット  身なりのチェックシート
まとめ 10分	○本時の振り返りをする。 ・清潔な身なりをするために気を付けることを確認する。 ○終わりのあいさつをする。	・生徒が授業で学習した事をお互いに確認し合えるように、生徒に発表させる。	

**【考察】**

&lt;成果&gt;

- ・プリントで、「清潔でないこと」を示し、身だしなみのチェックポイントが理解できた。

&lt;課題&gt;

- ・3グループ編成で活動したが生徒の活動量が、少なかったので1グループ1プリントではなく、生徒の実態に応じたプリントを複数用意した方がよい。
- ・「汚い」のイラストだけでなく、「きれい」との対比を作るべきだった。
- ・身だしなみチェックシートを習慣づける必要がある。

**【自立と社会参加に向けて（次のステップ）】**

- ・ハンカチを常に携帯する。
- ・丁寧に手洗い、洗顔を行う。
- ・自分が周囲からどう見られるかなど、自他の意識を学べるように、友人同士でのペアワークやグループワークで学習を深める。

<b>【題材名】</b>	
清潔感のある身なり	
<b>【題材の位置づけ】</b>	
将来に向けて 清潔感のある身なりを身につける。	
<b>【題材の目標】 ～対象児童・生徒の自立の姿～</b>	
ステージⅠ 支援を受けて清潔な身なりを知る事ができる。 ステージⅡ 支援を受けて服装をチェックし清潔な身なりができる。 ステージⅢ できる限り自分で服装をチェックし、清潔な身なりができる。	
<b>【題材の工夫した点・配慮した点】 ～主体的な学びのために～</b>	
・3グループに分けて言葉の指示を少なくするために、わかりやすい視覚的な支援を行う。 (例) きちんとした身だしなみのモデル(教員)ときちんとしていない身だしなみのモデル(教員)を、提示して両者の違いをわかりやすく示す。	
<b>【題材の指導計画】(1時間目/6時間中)</b>	
<b>時</b>	<b>主な学習活動</b>
1	支援を受けて、シャツ、靴下、ズボン等の身だしなみを正しく身につける。 9/6 本時
2	支援を受けて見本を見て自分の服装チェックをする。 9/6
3	徐々に支援を減らしシャツ、靴下、ズボン等の身だしなみを正しく身につける。 11/22
4	徐々に支援を減らし見本を見て自分の服装チェックをする。 11/22
5	極めて少ない支援で、シャツ、靴下、ズボン等の身だしなみを正しく身につける。 12/20
6	極めて少ない支援で、自分の服装チェックをする。 12/20
<b>【本時の目標】</b>	
シャツ、靴下、ズボン等の正しい身につけ方を見て知り、実際に体験することができる。	

○ 写真

図1

- ・「身だしなみポイント」プリント
- ・Yシャツ
- ・ポロシャツ
- ・ズボン
- ・ベルト



図2

- ・靴下のイラスト
- ・シャツのイラスト



図3

- ・櫛・砂



過程	主な学習活動	支援および指導上の留意点	資料・準備
導入 5分	○挨拶をする。 ○本時の内容を知る。	・クラス毎に座るよう声をかける。または席に案内する。	
展開 25分	○身だしなみについて考える。  ○3グループに分かれる。	・文字カードで本時の活動を伝える。 ・手本の教員に注目するよう言葉をかける。 ・身なりを整えた教員と、だらしない身なりの教員とを見比べて、どちらが良いかを答えさせる。複数人の生徒を指名する。 ・黒板に生徒と教員の顔写真入りのプレートを貼って伝える。	本時の活動の文字カード  顔写真入りプレート
休憩 10分	移動・休憩をする。		
展開 40分	○各グループで課題に取り組む。 ねらい（1G）：一人で着られる衣服の種類を増やす。 1G：Yシャツ、ポロシャツ、ベルト、ズボンの着用  ねらい（2G）：自分で身なりを意識できるようになる。 2G：シャツをしまう等、身なりを整える。  ねらい（3G）：見本を見て身なりを整える事がわかる。 3G：身なりを整える模倣を行う。	1G：Yシャツ、ポロシャツ、ベルト、ズボンをきちんと着用できるようにする。着用後、鏡で身だしなみが整っているか確認させる。確認ポイントを文字カードで伝える。できたら鏡を見て確認させる。（図1）  2G：シャツの裾をしまう絵カードを提示し、しまわせる。靴下は上側になる方に印を付けて履く時の手がかりを作る。着用後、鏡で身だしなみが整っているか確認させる。確認ポイントを文字カードで伝える。できたら鏡で確認する。（図2）  3G：教員が「シャツを入れる」「埃をはたく」「髪をとかしてもらおう」動作の見本を見せて、模倣させる。（図3）	1G Yシャツ、鏡 ポロシャツ、ズボン、ベルト 身だしなみ確認カード  2G シャツの裾をしまう絵カード 靴下  3G くし 細かい砂
まとめ 10分	移動・集合する。 ○振り返りを行う。 ・グループ毎に座る。 ・一人ずつその場に立ち、身だしなみをチェックする。  ○挨拶、片付けをする。	・美術室に集合させる。 ・ホワイトボードに座る場所を明記する。 ・きちんとした身だしなみができている事をポイントで確認させる。 ・ポイントをおさえている事を具体的に褒め、拍手で評価する。	

**【考察】**

&lt;成果&gt;

- ・一斉教示には注目できない生徒がいたが、3グループに分ける事で生徒の実態に合った展開ができた。
- ・一斉教示でだらしない格好の教員の身だしなみを生徒に整えさせる活動は良かった。

&lt;課題&gt;

- ・卒業後の姿を見据えて、身辺自立に向けて「身だしなみチェックポイント」を作り、生徒ができる事、できない事を明確にする必要がある。

**【自立と社会参加に向けて（次のステップ）】**

- ・日頃の着替えで、シャツを入れることや、靴下の裏、表を間違わずにはけるよう意識する。

<b>【題材名】</b>	
身の周りの施設（機関サービス）を知り、上手に利用しよう！！	
<b>【題材の位置づけ】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域にどんな機関サービスがあるか知る。</li> <li>・ 公共施設のマナー、機関サービス（図書館・郵便局など）のルールを守って利用する。</li> <li>・ 自分の目的に合った機関サービスの利用の仕方をみつけることができる。</li> </ul>	
<b>【題材の目標】 ～対象児童・生徒の自立の姿～</b>	
ステージⅠ 機関サービスを利用する経験をする。（楽しみを見つける） ステージⅡ 機関サービスのルール（マナー）を守って、利用する。 ステージⅢ 各機関サービスの特性や利用方法を知って、活用する。	
<b>【題材の工夫した点・配慮した点】 ～主体的な学びのために～</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分たちがいつも利用しているサービス機関（「瀬谷（鶴間）駅」「学校」など）と合わせて、公共機関サービスの場所の写真カード（「どこに」「どんなことができる」（マークもあわせて））を模造紙の地図に貼って、瀬谷 MAP を作り、身近に感じるようにする。</li> <li>・ 「〇〇のときはどこを使う？」などの利用目的を考えるワークを取り入れることで、利用する適切な機関サービスを自分で考え選択できるようにする。</li> <li>・ 選択形式や単純な作業を視覚提示（短い言葉の指示）で繰り返し行い、集中して課題に取り組めるようにする。</li> </ul>	
<b>【題材の指導計画】（1時間目／4時間中）</b>	
<b>時</b>	<b>主な学習活動</b>
1	機関サービスの特性（内容）を知ろう 12/4 本時
2	郵便局のサービスのルール（マナー）を知ろう 12/6
3	実際に郵便サービスを利用してみよう 12/6
4	振り返ろう ～郵送（宅配）サービスについて～ 12/6
<b>【本時の目標】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地図をもとに、自分の周りの「どこに」「どんな」建物があるか知ることができる。</li> <li>・ 建物（施設）によって、利用用途（サービス）を整理し、違いを理解する。</li> <li>・ どんな時にどの機関サービスを利用するかを選ぶことができる。</li> </ul>	

○ 写真

図1（瀬谷 MAP 拡大版）



図2（授業パワーポイント）



図3（ワークシート）

施設名	サービス	特徴
図書館	借書・読書	静かな環境で読書を楽しむことができる。
郵便局	郵便・宅配	郵便物の送付や商品の宅配ができる。
公民館	公民館活動	地域交流や趣味のサークル活動ができる。
学校	授業・学習	先生から学ぶことができる。
駅	乗車	遠くまで移動することができる。

## ○ 展開

場所：D棟 高等部3年C組教室

過程	主な学習活動	支援および指導上の留意点	資料・準備
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつをする。</li> <li>本時の活動の流れを知る。 ①地図から施設を探す。 ②それぞれの施設のサービスを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静かにさせ、MTに注目するように言葉かけして活動のはじまりを意識させる。</li> <li>黒板に活動を提示して、本時の活動の見通しを持たせる。</li> </ul>	活動カード
展開 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の周りがある施設を知る。</li> <li>施設のサービスを整理する。</li> <li>施設によって、サービス（利用目的）が違うことを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大地図と配用地図で「駅」「学校」「ボウリング場」「レストラン」などの場所を地図から見つけて写真カードを貼り、どんな場所（サービス）かを確認させる。（図1）</li> </ul>	拡大地図 写真カード 配用地図 テレビ、PC
25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>「〇〇の時、どこを使えばよいか」という発問をして、適当なサービス機関を選択する。 ①警察（交番・駐在所） ②図書館 ③郵便局</li> <li>ワークシートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パワーポイントで「〇〇の時、どこを使えばよいか」というクイズ形式の発問を出して注目させる。（図2）</li> <li>実態に合わせて、不正解の選択肢の施設について、なぜダメかの理由（どんなサービス受けられる施設か）を伝える。（図3）</li> </ul>	拡大地図 ワークシート テレビ、PC
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の活動のポイントを振り返る。</li> <li>あいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MTに注目するように言葉かけする。</li> <li>挨拶後の動きを短い言葉で指示する。</li> </ul>	

**【考察】**

## &lt;成果&gt;

- 今まで何気なく使っていた（通り過ぎていた）場所について、改めて確認できて良かった。
- 地図を見て、どこにあり、どういう（サービス内容）場所かを生徒が興味・関心を持ち、自ら発信して取り組んでいた。

## &lt;課題&gt;

- 時間配分と課題の精選は大事である。
- 書くことが苦手な生徒がワークシートを書くことだけに集中して、本来の学習活動に参加が難しくなっていた。学びの再確認でワークシートは活用できると良い。2種類のワークシート（選択と空欄形式）を用意したり、付箋を貼ったりする。必ず書く言葉を伝えるなど手立てを工夫できると良かった。
- 書き取る（メモを取る）ことについては、国数などの時間を活用して具体的に書き取るポイントを学び、書き取る学習を積み上げて、その成果を教科で発揮できるようにつなげていけると良い。
- 今回の施設以外に取り扱う施設（サービス機関）を考えていけると良かった。その際、卒業後の20代・30代の彼らをイメージして検討できると良い。銀行・役所などもあっても良かった。

**【自立と社会参加に向けて（次のステップ）】**

- 家庭生活で障害者年金などの話にふれる際、役所についてもふれる。
- （机上学習だけでなく）実際に経験を積み、その際に地図などを使って、場所とサービス内容などを確認する。
- 場所・サービスを知って、実際に利用する。（外出計画：時刻・時間の学習とあわせて国数の時間で学習）



<b>【題材名】</b>	
身の周りの施設（機関サービス）を知り、上手に利用しよう！！	
<b>【題材の位置づけ】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にどんな機関サービスがあるか知る。</li> <li>・公共施設のマナー、機関サービスのルールを守って利用する。</li> <li>・自分の目的に合った機関サービスの利用の仕方をみつけることができる。</li> </ul>	
<b>【題材の目標】 ～対象児童・生徒の自立の姿～</b>	
ステージⅠ 機関サービスを利用し、楽しみを見つける。 ステージⅡ 機関サービスのルール（マナー）を守って利用する。 ステージⅢ 各機関サービスの特性や利用方法を知って活用する。	
<b>【題材の工夫した点・配慮した点】 ～主体的な学びのために～</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入として、家庭生活中で学習した「余暇」の家での余暇・外での余暇の復習をしつつ、「図書館」を加えて余暇に結び付けられるようにする。</li> <li>・イラスト（絵カード）と短い言葉で、公共機関（図書館）を利用する際のマナーを確認し、利用時にも確認できるツール（言葉、提示するカード）にする。</li> <li>・様々な書籍のコーナーを作り、各コーナーを体験する。最後に自分で選択して、コーナーで落ち着いて過ごす。</li> </ul>	
<b>【題材の指導計画】（1時間目／4時間中）</b>	
時	主な学習活動
1	余暇で過ごせる場所（図書館）を知ろう！ 12/4 本時
2・3	図書館を利用してみよう！ 12/6
4	図書館での活動を振り返ろう！ 12/6
<b>【本時の全体目標】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館がどんな場所か、自分の身近にあることを知る事ができる。</li> <li>・図書館を利用するときのルール（マナー）を知る事ができる。</li> <li>・好きな本のコーナーを選ぶ事ができる。</li> </ul>	

○写真

図書館ルール掲示（図1）



図書選択シート（図2）



## ○ 展開

場所：D棟 集会室、高等部3年A・B組教室

過程	主な学習活動	支援および指導上の留意点	資料・準備
導入 2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつをする。</li> <li>本時の活動の流れを知る。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①余暇の復習をする。</li> <li>②図書館を知る。</li> <li>③図書コーナーを体験する。</li> <li>④好きな図書コーナーで過ごす。</li> </ol> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MTに注目するように言葉かけして活動のはじまりを意識させる。</li> <li>黒板の左側に活動項目を提示して、現在の活動の項目を確認させる、見通しをもたせる。</li> </ul>	ホワイトボード
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>家で余暇・外での余暇を振り返る。</li> <li>外での余暇に「図書館」もあることを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活で学んだ余暇を思い出せるようにピクトを提示して、どんな余暇があったかを答えさせる。</li> <li>図書館のピクトを見せて、図書館は何ができる場所なのかを問う。</li> </ul>	絵カード 文字カード
展開 6分	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館のルール、マナーを知る。</li> <li>○ルール、マナー               <ol style="list-style-type: none"> <li>①静かに過ごす。</li> <li>②本は優しくていねいに扱う。</li> <li>③読んだ本は、元の場所返す。</li> </ol> </li> <li>図書館体験コーナーを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロールプレイを行ってイメージを持たせる。</li> <li>図書コーナー体験の説明とグループ分けをする。</li> </ul>	ルール揭示 本
25分	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書コーナーの体験をする。 絵本、マンガ、新聞・雑誌、図鑑の各コーナーを5分ずつ体験する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒を観察し、ルールやマナーが守れていない際は、言葉かけや黒板掲示を見せる。(図1)</li> </ul>	各コーナー揭示物 ルール揭示、 タイマー、本
まとめ 8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合をする。</li> <li>好きなコーナーを選んで、過ごす。</li> <li>各コーナーであいさつをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各コーナーの絵カードを提示して、自ら選ぶことができるようにする。(図2)</li> <li>次回予告として図書館へ行くことを伝える。</li> <li>MTに注目するように言葉かけして活動の終わりを意識させる。</li> </ul>	図書選択シート

**【考察】**

## &lt;成果&gt;

- 将来、仕事を継続して行っていくために余暇を充実させる事は必要であり、地域の中に余暇で過ごせる場所がある事を知る事ができた。
- 各コーナーを回り、好きな本や興味がある本を確認する事ができた。

## &lt;課題&gt;

- 図書館でのルール・マナーや生徒が好きな本を再確認するだけの授業となっていた。
- 「本は元の場所へ返す」というルールを知るねらいもあったため、図書館と同じように本棚に収納して、背表紙だけが生徒に見える形にした。背表紙の情報だけでは、本を手にとろうとしない生徒がいた。ねらいの設定をもっと絞る事が必要だった。
- 各コーナーを回り、集合して好きな本を選び、再び好きなコーナーへ移動するという生徒の動線が乱雑だった。集合して好きな本を選んだ時点で授業が終わりと感じた生徒がいた。全て回り終えた時点(各コーナー)で、好きな本のコーナーを選んで過ごし、最後に集まって図書選択シートを使用して振り返りを行えたらよかったと考える。

**【自立と社会参加に向けて(次のステップ)】**

- 図書館は本を読むだけでなく、「CDを聞ける」「本の話を読んでくれるアプリがある」「パソコンを利用できる」などの、生活年齢に合わせた社会資源を知る授業を設定する。